Good Sports Good Future
–最広の交流と最高の興奮を–
FLV
Youth Academy
Fourex League Volleyball

— 競技スポーツの構造と機能を活用した人材育成プログラム

文武両道場2017

チームビルディング能力開発研修・入門編

デュアル・チャレンジプログラム ステージⅠ

FLV実行委員会・筑波大学産学連携松田プロジェクト室

※本コンテンツは筑波大学体育系発ベンチャー㈱Waisportsジャパンに帰属するものです。

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

概　要

チームスポーツ競技種目のひとつ、バレーボール競技の構造と機能を活用したプログラムです。

受講者は、バレーボールチーム（組織）のプレイヤー（構成員）として、予め設定された指揮官（未経験の企業人）と同僚達（複数の高校チーム混在）で結成される集団を、短時間で最高のチームへとビルディングし、見事競技会で結果を残すことを目標とします。

この実戦の中で、チームで業績を挙げる（優勝）ということと自らの主体性を発揮する（満足度）ということの、2つの事象に同時に挑戦していくというデュアルチャレンジプログラムとなります。

これを通じ，自らの強み・才能・コミュニケーションスタイルに関する実践知を深めていくことで，来るべき新チームビルディング、進路選択、将来構想の時に向けて自信を高め準備を整えておくことを目的とするプログラムです。

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

目　的／目　標　と　背　景

【目的】

新チーム構築及び進路選択の準備段階で，社会人や他者への働きかけを実戦体験し、自分の強み、才能、主体性発揮手法、コミュニケーションスタイルを知ることで、自信を高め，以後、「自分らしさ」を念頭に行動できるようになること。

【目標】

❶ 自分の強み・主体性発揮手法（才能）・コミュニケーションスタイルを抽出すること
❷ チームビルディング（デュアルタスク）に必要なことを抽出すること
❸ 何故今までバレーを続けてきたのか、これからも何故実施するのかを明確にすること
（一部　①と②の発見を外部活用できる場合には言語化をする）

【対象】

☑ 新チーム結成前の高校生バレーボーラー（主に女子）
☑ 大学１年生バレーボーラー（主に女子）

【背景】

日常部活動においては、優勝劣敗主義の環境設計を背景に、バレーボーラーとしての小・中からの経験差、体格差、技術格差、学年格差等が専らの注目対象となり、必ずしも人としての能力特性、自らの主体性、強み、またその発揮手法や技能力は対象となっていない。

その為、受動的に淡々とバレーボールという「運動競技」・「部活動」に取組み、唯一の成果は、「勝敗」と「技術伸長」のみという学生が多く、「人間的成長」や「人格陶冶」「自己能力認識」を成果として残す学生は極めて少ない。アスリートのセカンドキャリア問題等はその最たる事例である。

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

方 法 と 背 景

形式	座学＊1+チームビルディング実戦＊2+チームリフレクション＊3 ＊1:ストレングス紹介，＊2:2つの種目を実戦（固定制6～9人制バレーボール），＊３：Points of You
参加費	無料
期間	各2日間（9時～18時／1日） ※第一期;7月末（第一期）　第二期;8月7･8日＠明治大学付属明治高校
参加人数	合計40～60名程度（10校以下）
方法概要	★チームメイトは初めて会う人、指揮官はバレーボール未経験者であり、一般企業人、ルールも普段と異なるという「非日常」の演出、一方で新しいプログラムコンテンツを活用することで、日常の自分を相対的に見つめなおす機会とする。 ★マネジメントの対象になるのは、高校・大学チームの現役選手であり（複数校）実際の練習に受講者が参加し、現実のチームビルドとモチベーションマネジメントにチャレンジする。 ★「チームビルディング；実戦と即座のレビュー」で経験知を，「座学とリフレクション」で形式知を獲得し，最終的には「実践知」化していくことを試みる。 ★ “体験型”ではなく、受講者には「チームビルディング実体験」を通して学ぶ。

【背景】

日常的、常識的な環境とは大きく異なる競技環境の必要性。企業人との実践的な協業による社会教育及びキャリア教育の必要性。

Copyright･©2016WaisportsJapan･inc All Rights Reserved

カリキュラム概要

暗黙知 → 経験知 → 形式知 → 実践知

新集団と新ルールを教材としたビルディングプロセス体験

- 事前考査(チーム振り分け作業用)※教員協力必須
- オリエンテーション
- マッチング完了➡チームワーキング開始
- 戦略立案↔実践↔即座のレビュー↔修正
- チームリフレクション・中間フィードバック
- 最終競技会

自らを最大化し、チームを最大化しいく作業

体験から得た学びの最大化と転用

- 監督からのフィードバック
- 各種リフレクション
- 自己整理
- Outputの最終プレゼン
- 日常での実践

自らのスタイルを明確化していく作業

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

タイムスケジュール

一日目	コンテンツ	概要
9:00	◆オリエンテーション ◆リーダーシップ・マネジメントの重要性	・事前課題「ストレングスファインダー」 ・デュアルプログラムの意義 ・最終Out Putの再確認 ・なりたいリーダー像
10：00 ～ 12：30	◆参加者・チーム紹介 ◆チームマネジメント実戦	・開講式 ・あらかじめグルーピングしたチームと受講者が出会うワーク。受講者自身の働きかけ力や推進力を試す。 ・最終競技会に向けた計画立案及びトレーニング
13：30～ 14：30	◆チームビルド・リフレクションⅠ	・チーム毎に午前中の内容を振り返り，全体共有をする。 ・個々人の特性再認識 ・競争環境の特性再確認
14：30 ～ 17：00	◆チームマネジメント実戦	・各チーム試行錯誤，Try＆Error
17：00 ～ 18：00	◆チームビルド・リフレクションⅡ ◆明日の目標設定 ◆個人の一日のリフレクション	・ビジネスシーンと照らし合わせた明日への課題と目標設定

二日目	コンテンツ	概要
9:00～ 9:30	◎昨日のチームの振り返りと目標設定	・選手と受講者の目標設定と振り返り ・受講者がミーティング運営をして、選手への働きかけ力やチームビルドを実践する。
9:30 ～ 10：30	◆チームマネジメント実戦	・最終調整と本日のゴール確認
10：30 ～ 12：30	最終競技会（前半）	・必要に応じて、受講者を集めてアドバイス
13：30 ～ 14：30	最終競技会（後半）	・同上
14：30 ～ 15：30	◎ゲームワークリフレクション ◆チャレンジ・リフレクション	・チームごとに二日間を振り返り全体共有。 ・表彰式及び解散式 ・受講者のみワークの振り返り
15：30 ～ 17：00	◆リーダーシップ・マネジメント実践のリフレクション （個々人と集団）	・強みを活かしたマネジメントができたか ・働きかけ、推進等の発揮 ・他
17：00 ～ 18：00	◇◆まとめと行動目標	・学びのプレゼン（最終Output） ・これからのリーダーシップ開発をどうするか？等

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

チームスポーツ実戦・プログラム

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

プログラムA-Wボールパス

（テーマ） Wボールランニングパスで規定回数「　　」を越えろ

【ルール】

・ 決められた2本のコーンの幅でパスを行うこと。

・ 1つでも落としたら「デッド」。試技は2回まで。試技は1チームずつ厳かに実施する。

・ 予め定めた順番通りにパスをする事。順番及びボールの乱れによる継続はカウント しないが（フォロー有）、順番と軌道が戻った場合には途切れた箇所からカウントし直す。

・ 構成員全員で大地が震える程の声を出して数を数えること。（乱れは失格）

・ パスをする相手の名前を**楽しそう**に叫ぶこと。（不貞腐れと無言は失格）

・ パス後の参列時にはタッチを**激しく**行うこと。

・ オーバー、アンダーMIXでよい。

・ 以上の前提条件をひとつでも満たさない場合には、いずれの場合にもその試技は失格となる。

【評価】

（　　）回以上　100点

（　　）回以上　150点

※（　　）回未満は0点

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

プログラムB-6～9人制ゲーム

【ルール】

・6～9人がコートに入る。（1/3以上がリザーブになるよう調整）

・ローテーションは、六段循環制ではなく、前衛後衛二段制とする。（前衛と後衛が入れ替わるだけ；後衛3人最後のサーバーが打ち終え、サイドアウトした後、前衛と後衛が入れ替わる）

・原則6人制競技ルールで実施する。

・ポジションは各チームで自由に設定してよい。

・前衛、後衛内でのポジションチェンジは自由とする。

・25点1セットマッチ

【評価】

1位　150点　2位　100点　3位　50点　4位　20点

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

座学＋リフレクション・プログラム

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

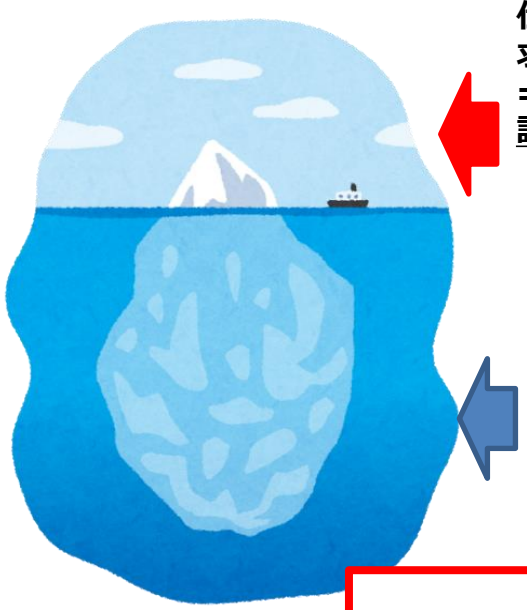
本プログラムで使用するコンテンツ

ストレングス・ファインダー2.0
で3340万分の１の個人の
才能と強みの発見

※但しSFは、説明のみ。テストは実施しない。

見せている部分

見せない部分



仕事のスキル、
求められる組織行動
＝　他人に見える部分、
評価、判断される部分

ものの捉え方、
価値観・意義

CLIFTON STRENGTHSFINDER™

自分だけの特長的な資質

目標志向

戦略性

学習欲

内省

未来志向

Copyright © 2000, 2006-2007 Gallup, Inc. All rights reserved.

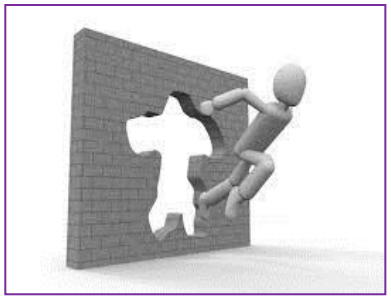
Points of You®で
新しい視点、相手の
視点を獲得

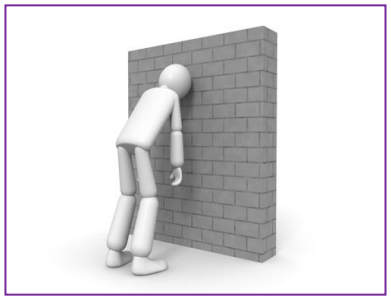
Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

①自分自身の強みを知る

才能とは

目の前の壁を突破しなくてはならないとき、どうするか。





とにかく実行、人の手を借りる、じっと考える、道具を使う、などやり方はそれぞれあります。
強みとは、個人個人が **自分の最も力を発揮できるやり方** のことです。

自分で自分の「良さ」を理解して発揮することはとても重要。
そしてそれが “他人のためになっていること” を強みといいます。

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

ことばの定義

・才能　＝　生産的に使える
思考・感情・行動の自然な繰り返しパターン

・強み　＝　ポジティブな結果を
一貫して完璧に生み出す能力

・ストレングスファインダー　＝
米国の社会調査会社Gallup社の開発した
強みを発見するツール。世界で1650万人が受検

才能 × 訓練　＝　強み

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

資質の４分野と「動き出す」ツボ

実行力の資質：

・成し遂げる。結果を重視する。
・明確な**ゴール**

影響力の資質：

・主導権を重視、意見を発信。評価を求める。
・**自由な裁量**

人間関係構築力の資質：

・強い人間関係。チームをまとめる。相手を優先する。
・**対象となる相手**

戦略的思考の資質：

・あらゆる可能性。より適切な判断。まず考える。
・**情報**

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

②チームビルドスキル１

・会話をする

良い話し手になる

正誤はないので自由に
率直に話してみる

↓
<u>信頼してみること</u>

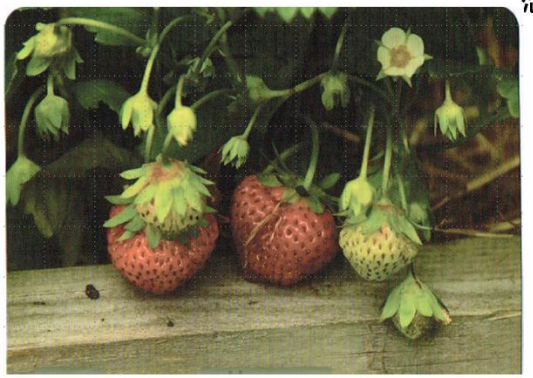
良い聞き役になる

肯定的・受容的に
関心をもって

↓
<u>相手に合わせてみる</u>

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

エクササイズ



この写真を見て
感じたことを話しましょう。

“いちご”

“ケーキ”“ジャム”

“クリスマス”

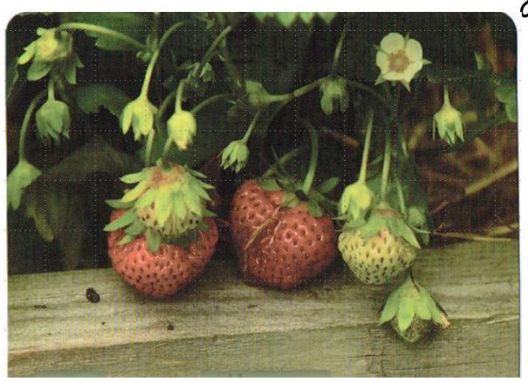
“子供の頃行った
いちご狩り”

画像→　連想

＋他者視点の質問

画像→　自己関連付け

＋多様な視点



この写真を使って
あなたを表してください。

“私は右の実です。”

“私は栽培者です。”

“私は鳥です。”

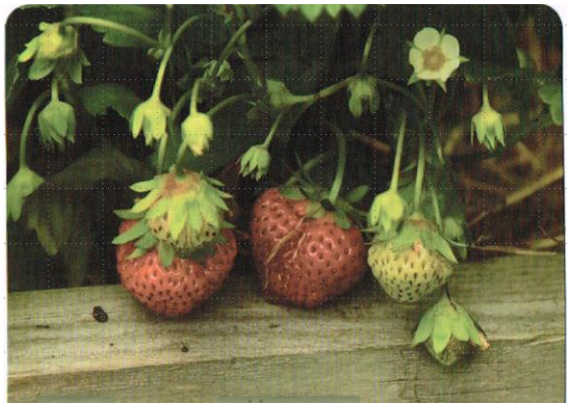
“私はプランターです。”

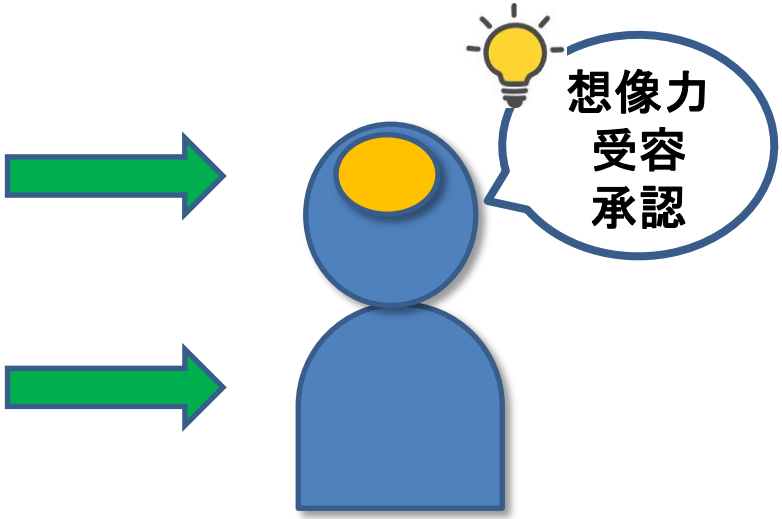
Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

③チームビルドスキル２

・相手の話を聞く

・写真に何を見るのか
・同じものを、隣の人にはどう見ているのか
・隣の人に見えて、自分には見えないものはなにか



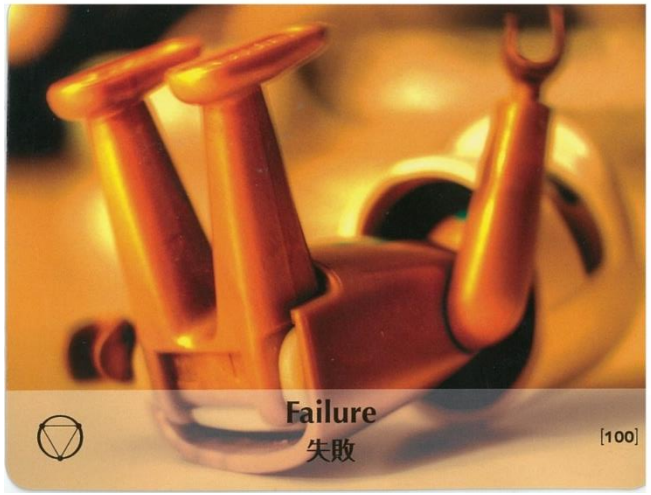


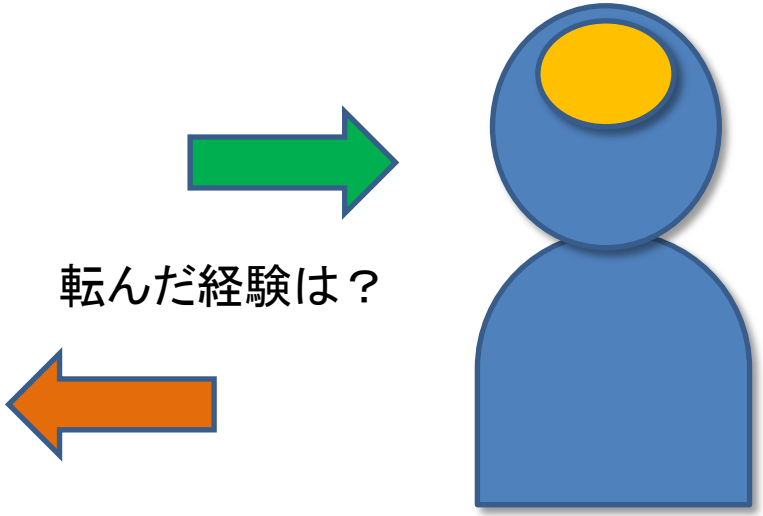
Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

見えるものと見えないもの

現実に
見えている
見えていない

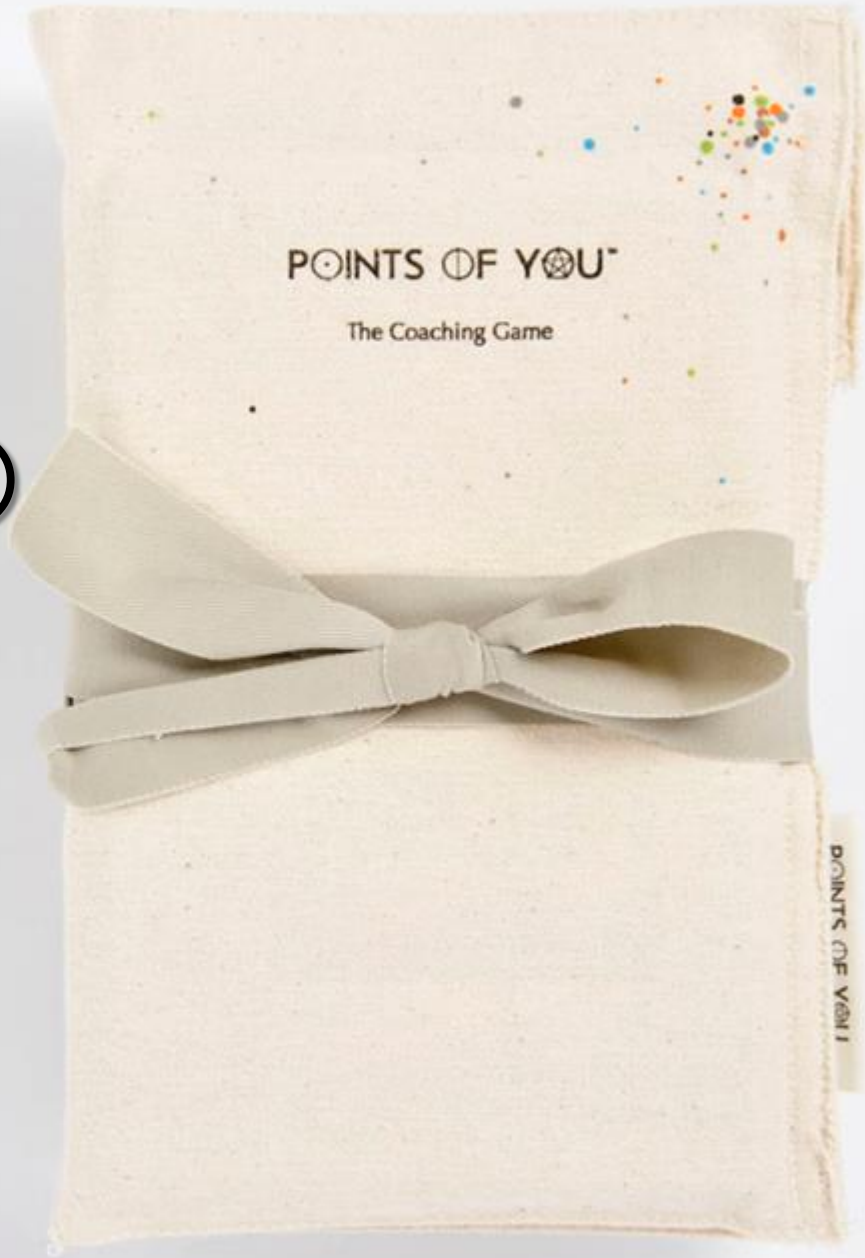
自分の
わかっている魅力⇒<u>強化</u>
わかっていない魅力⇒<u>発見</u>





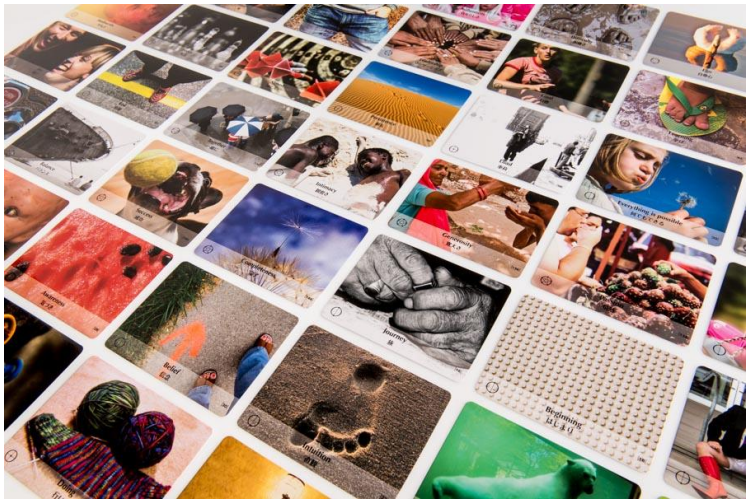
Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved
©hirata shinobu2016

Points of You®
について



65枚のカード

Points of You® の65枚のカード。
世界中の国々のプロ、アマチュアの写真家から集められた。そこには彼らの描くビジョンや志を表した写真が数百枚集まり、その中から厳選された65枚。
ブックは写真のストーリーやことわざ、質問も用意されており、イメージを広げるヒントに。
Google,IKEA,NASAなどがチームビルドに活用しているツール。



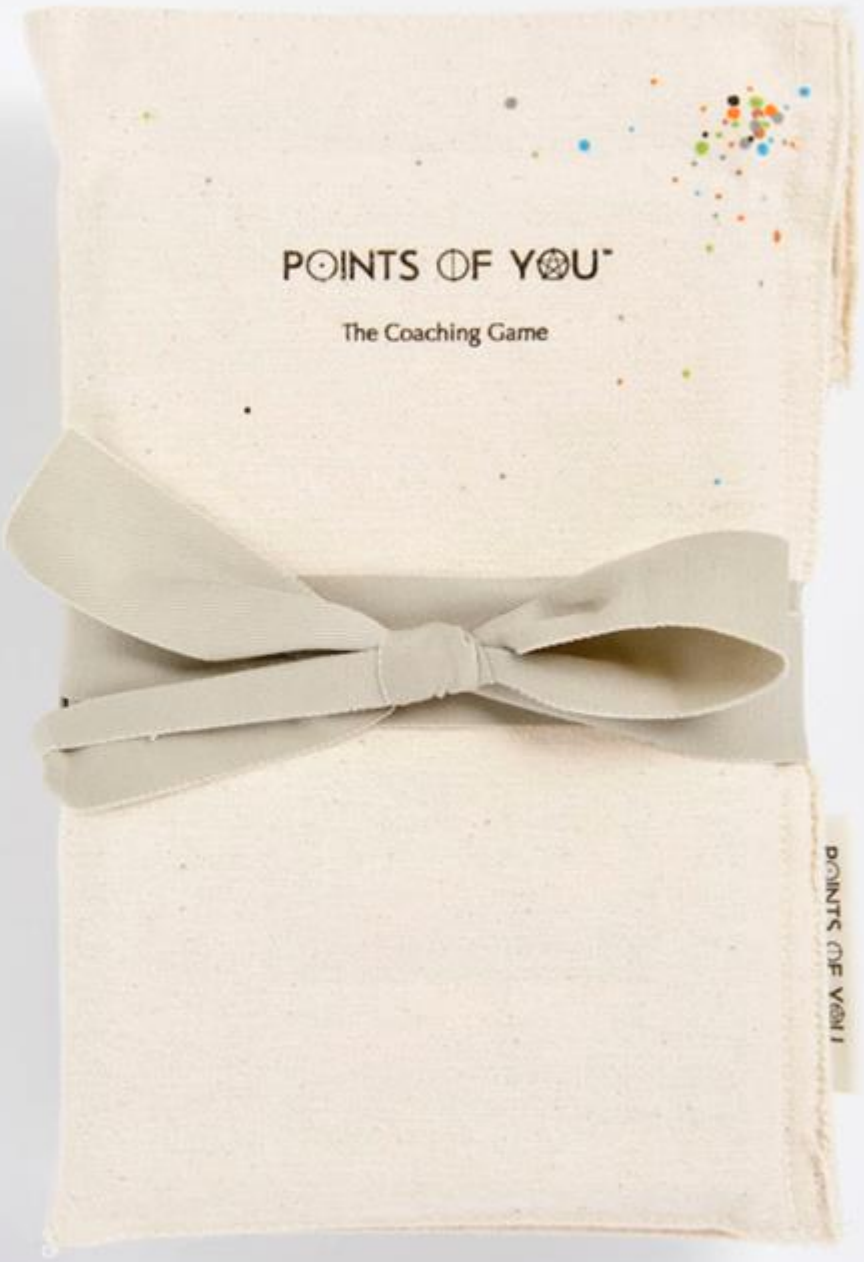
Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

POINTS OF YOU™

Creative Tools for Training & Development

基本の使い方

1．ポージング（リセットタイム）
2．拡散（想像力発揮）
3．洞察（内省）
4．行動（実現可能な計画）



ポジティブ心理学と
Points of You®

HQC s
High Quality Connections

質の高い繋がりを形成する4つの方法
1. 助け合いのある関わり
2. リスペクトのある関わり
3. 信頼性のある関わり
4. 遊び心のある関わり

HQCsが頻繁に起きる組織は、そこにいる人の幸福度が高い。
（Dutton,2003/2014）

チームワークの実現には、
個人個人の創造性が必要。

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

その他情報

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

実施事例

【期間】 2016年7月21・22日（終日）／27日（PM）・28日（PM＋α）／8月10・17日

【場所】 21日（筑波大付属高校），22日（中央大学付属高校），27・28日（紅葉川高校）

【参加高校】

筑波大学付属高等学校女子バレーボール部・明治大学付属高等学校女子バレーボール部・中央大学付属高等学校女子バレーボール部（合計36名）

【協力企業】

エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
総務人事本部管理職正社員12名

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

講師紹介

株式会社Waisportsジャパン
代表取締役

筑波大学体育系研究員
（産学連携推進・創業支援プロジェクト代表）

松田 裕雄

筑波大学
体育学修士
FIVB 国際バレーボール連盟公認コーチ　ステージⅡ
日本体育協会・日本バレーボール協会公認 上級コーチ
筑波大学リサーチユニット「スポーツ環境デザイン」幹事

スポーツで価値創造を図るべく、大学における研究者（スポーツコーチング・ビジネスマネジメント専門）としての教育・研究活動と企業における経営者（スポーツ組織・事業等）としての事業活動を一体で実践し、大学発ベンチャーや事業を多数輩出する等教育研究の成果を社会産業化する産学連携の産業創出活動を行っている。

主な教育研究活動実績

2014～　国立大学法人筑波大学体育系研究員
2003～2014　国立大学法人筑波大学体育系講師
・「スポーツ実技指導を通じたマインドセット教育の効果的質的向上に関する研究」（フランクリンコビージャパン㈱）
・「スポーツアスリートの職能・人的ネットワーク・雇用機会を拡大・拡充させる教育プログラムに関する研究」（㈱スポーツビズ）
・「スポーツ産業市場を活性化させる起業家的人材育成プログラムの開発と実践（日本学術振興会）
・「知の競争時代における新しい大学体育モデルの構築」（日本学術振興会）
・大学体育優秀論文賞受賞
・スポーツ産業における起業家的人材育成プログラムの開発と実践（筑波大学教育推進部）

主な競技指導活動実績

2009～2010　Vリーグつくばユナイテッド SunGAIA監督
2006～2010　つくばユナイテッドSun GAIA Jr.ユース監督
2003～2010　筑波大学体育会医学支部女子バレーボール部監督

主な社会活動実績

2015～　株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンタテイメント顧問
2012～　筑波大学産学連携講座「勇者の鼓動」塾長
2006～2010
公益財団法人日本バレーボール協会強化事業本部一貫指導委員会委員
2005～2010
一般社団法人日本バレーボールリーグ機構　V・チャレンジリーグ運営幹事
2003～2008
東西インカレバレーボール男子王座決定戦inつくばエグゼクティブプロデュー

主な事業活動実績

2015～　株式会社Waisportsジャパン創業
・福島県大熊町再開発支援
・福島県猪苗代町志田浜再開発支援
・東京都中央区晴海2020選手村跡地開発支援
・茨城-北海道活性化プロジェクト事業等

2012～　合同会社アスリートライフ創業
2006～2010　NPO法人つくばユナイテッドVOLLEYBALL創業
・Vリーグトップチーム「つくばユナイテッドSun GAIA」創設
・アパレルブランド「Sun GAIA station」創業
・総合型バレーボールスクール「TEAM Sun GAIA」創業
2000～　FLVインターナショナルクラブバレーチャンピオンシップ創業

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

講師紹介

平田しのぶ

人財開発コンサルタント

自動車メーカー（トヨタ自動車株式会社宣伝部事業課所属宣伝・広報担当）からIT関連（総務部人事採用教育担当）、アパレル（ 宣伝・企画担当）、人材育成・研修（研修会社研修部　企画・運営担当）を経て、筑波大学大学院人間総合科学研究科を修了。その後同大学研究員として“トップアスリートのセカンドキャリア開発” に関する研究を行い現在はフリーのコンサルタント及び筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターアドヴァイザリースタッフとして活躍。

【資格】

・筑波大学大学院修士課程修了（保健学修士）、日本生産性本部認定キャリアコンサルタント（財）日本生産性本部認定メンタルヘルスサポーター、米国Gallup社 認定ストレングス・コーチ、シリアルスキル・コーチング講師（Executive Certificate in Resilience Training Instructor、The School of Positive Psychology,Positran認定）、日本ポジティブ心理学協会　プラクティショナー、Points of You® 認定マスタートレーナー（国際資格）

【専門分野】

キャリア開発（組織・個人）・就職活躍支援・大学生のキャリア開発・企業内キャリア開発 他
コミュニケーション開発（組織・個人）・リーダシップ、プレゼンテーション、ファシリテーション、意思決定、CS向上 他
メンタルヘルス向上 ・・・　セルフマネジメント・ストレスマネジメント・ラインケア

【主な実績】

1986年～現在	ニッポン放送プロジェクト他ラジオ・テレビレポーター。メディアトレーニングを担当。 企業・自治体におけるコミュニケーション・マナー・プレゼンテーションスキル開発のための講演・研修を企画、実施
2003年～現在	自動車販売会社女性社員に対しキャリア研修、組織開発コンサルティングを実施、3ヶ月で前年度売り上げ台数150%達成する。
2007年～2011年	電力会社　30代、40代社員にキャリア開発・メンタルヘルス研修　15000名実施
2008年～2012年	厚生労働省　キャリアコンサルティング基礎講習・ジョブカード講習　20000名実施
2011年～2013年	筑波大学大学院研究員
2013年～現在	ICT企業にて管理職キャリア開発支援のための研修
2016年～現在	筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
その他　現在	(財)日本生産性本部キャリアコンサルタント認定試験 試験官 金融機関・メーカー等のキャリアコンサルティング 省庁セミナー・大学生・高校生のための就職セミナー・キャリアコンサルティング 大学におけるキャリア講義・キャリアコンサルティング

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved

大学における教育研究実績

【産学連携共同研究プロジェクト】

- 「スポーツ実技指導を通じたマインドセット教育の効果的質的向上に関する研究」（フランクリンコビージャパン㈱）
- 「スポーツアスリートの職能・人的ネットワーク・雇用機会を拡大・拡充させる教育プログラムに関する研究」（㈱スポーツビズ）

【外部資金研究プロジェクト】

- 「スポーツ産業市場を活性化させる起業家的人材育成プログラムの開発と実践（日本学術振興会）
- 補「知の競争時代における新しい大学体育モデルの構築」（日本学術振興会）

【学内教育プロジェクト】

- スポーツ産業における起業家的人材育成プログラムの開発と実践（筑波大学教育推進部）

ほか

【主な研究論文】

・ 松田裕雄　武田丈太郎　小俣よしのぶ　渡和由　高橋義雄　岡田幸彦　相原正道　折笠愛　濱崎元直：スポーツ産業市場を活性化する起業家的人材育成プログラムの開発と実践―筑波大学未来構想大学講座「プロフェッショナルマネジメント－スポーツで学ぶビジネスとキャリア」（全16単位）より―. 日本ベンチャー学会誌ベンチャーレビュー、No.25、pp.67-72、2015

・ 金谷麻理子、小山宏之、富川理充、向後佑香、相羽美幸、吉松梓、桐生習作、松田裕雄、吹田真士、吉岡利貢、宮下憲：「大学体育」のカリキュラムの違いが長期的な教育効果に及ぼす影響－T大学卒業生を対象としたアンケート調査に基づいて－．大学体育研究、第36号、pp. 17－28、2014

・ 松田裕雄、吉岡利貢、河村レイ子、桐生習作、金谷麻理子、武田丈太郎、門野洋介：大学体育の価値向上に向けた一考察－教育実践における目標・教授・学習に着目して－．大学体育学、第9号、pp.69－92、2012 **（平成24年度大学体育優秀論文賞受賞）**

・ 松田裕雄：スポーツ・アントレプレナーシップ教育の実践－地域を創るスポーツ・デザインプロデュース－．　大学体育研究、第33巻：pp.31－40、2011

・ 松田裕雄、金谷麻理子、吉岡利貢、小田梓、吹田真士、川村卓、小山宏之、白木仁、橘直隆：筑波大学体育センターの教育事業におけるカリキュラム概念基本構造の変遷．　大学体育研究、第32巻：pp.7－18、2010

Copyright・©2016WaisportsJapan・inc All Rights Reserved